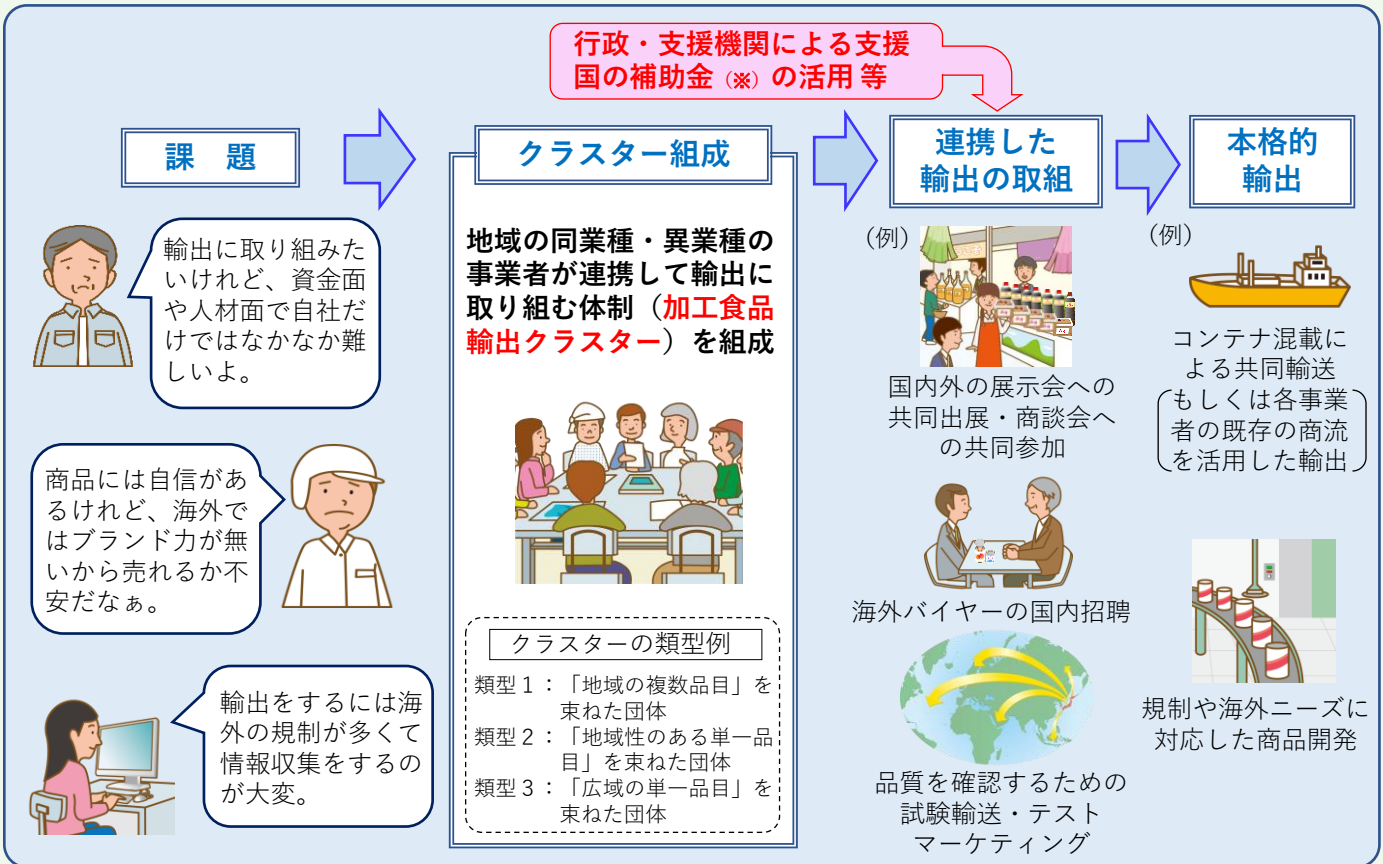


「加工食品輸出クラスター」の組成を検討してみませんか？

東北農政局

加工食品の輸出にあたって、特に中小規模の製造事業者においては、ノウハウ不足や人材面・資金面での課題があり、単独で輸出に取り組むことが難しい場合があります。

これら課題の解決に向け、地域の同業種もしくは異業種の事業者が連携した輸出に取り組んでみませんか？



※ 農林水産省「加工食品輸出先国多角化等支援事業」等

<輸出拡大に向けた加工食品輸出クラスターによる活動事例>

共同での海外プロモーション

単独での海外展示会への参加はハードルが高い

- 共同での国内外の見本市や展示会への参加
- 海外バイヤーの国内招聘・製造現場の紹介
- 商品の試験販売

共同輸送

個々の事業者が小ロットでバラバラに輸出し、物流コストが割高

- コンテナにおける混載、共同輸送
- 地域が一体となった地方空港・港湾の利用

ブランドの確立に向けた取組

ブランド力、国際競争力が不足

- 連携した地域ブランド・商品ブランドの構築
- GI、地域団体商標等の取得
- プロモーション活動・HPの共同作成等

海外規制情報等の共有

単独では海外ニーズ調査は困難であり、各種規制情報等も把握できない

- 海外ニーズ調査及び勉強会
- 輸出ノウハウの共有
- 農水省、JETRO等への相談や支援策の共同活用

(参考) 輸出拡大に向けた加工食品クラスターの取組事例：

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/soumu/cluster/zirei.html>

- 秋田県大潟村の12事業者が、大潟村の農産物・加工品の輸出促進に関する協力体制の確立と課題の共有を図り、国内外の食品展示会への出展、輸出環境調査、輸出関連事業に関わる情報の提供・共有、新商品開発支援を実施するため、2016年4月に協議会を設立しました。
- 海外展示会への共同出展や海外イベントの実施、2021年からは大潟村あきたこまち生産者協会が核となり、秋田港からの共同輸送による輸送コストを下げる実証事業を実施しています。

団体概要

- 所在地 秋田県南秋田郡大潟村
- 設立年 2016年4月
- 事業内容 秋田県大潟村のコメ・コメ加工品を中心とした県産品の海外販路拡大
グルテンフリー・FSSC22000・ハラール・Non-GMO等
- 認証取得
- 生産規模 コメ：114億円
コメ加工品：27億円



輸出を進める上で抱えていた課題

TASK
課題
1

秋田県の海外での認知度が高くないため、秋田県ブランドでの訴求が難しい

TASK
課題
2

展示会・商談会で、商品評価は高いにも関わらず、価格面で成約に繋がらない

TASK
課題
3

個社単位での輸出ではコンテナを満載にできず、結果として輸送コストも高い

輸出成功のポイント

大潟村ビデオ・冊子等の活用/他自治体との連携

香港・米国小売店でのテスト販売において大潟村をビデオ・冊子でPR。県・県内自治体と連携したプロモーションを進める

佐川急便と連携した「海外産直プロジェクト」

あきたこまち生産者協会の産直ノウハウ・連携先の佐川急便の世界ネットワーク活用で、直接輸出により輸送コストを削減

共同輸送実証によるロット確保

複数品目の県内事業者で秋田港から共同輸送実証を実施。将来的にさらなるロット確保・輸送コスト減を目指す

東北農政局ホームページ

https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/kakou_yusyutu/index.html



加工食品の輸出促進 東北農政局

検索

お問合せ先

東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課
仙台市青葉区本町3-3-1 (仙台合同庁舎A棟)

TEL:022-221-6146